

岩崎 純一 著

『岩崎純一全集』 第十三卷 「人文科学（一の三）」

日本思想、日本の仏教、日本神話・神道および日本史、日本の地理（一）

編纂、監修 岩崎純一学術研究所 『岩崎純一全集』編纂局

巻頭言

本巻は、『岩崎純一全集』の第十三巻を成し、岩崎の言語の著作物のうち、日本思想、日本の仏教、日本神話・神道および日本史、日本の地理、とりわけ仏教に関する述作を収める。

目次

巻頭言

第一編 ○歳々十九歳

第二編 二十歳々二十九歳

第一部 鈴木大拙

(編集者)

仏教と現代日本社会と私

仏教と現代日本社会と私

仏教徒、仏教者、仏者

曹洞禅と道元

中観と唯識阿頼耶識意識と本質

織田信長と浄土真宗

葬式仏教、戒名仏教

葬式無用、戒名不要

日本国民の「色即是空」理解

仏教系新宗教

五木寛之の仏教感覚

仏教観察史

初期仏教

釈迦という人

部派仏教、上座部仏教

大乘と小乗

清浄道論

言語との関係

大乘仏教

大乘（金剛乗）の根本教義

顕教と密教

チベット仏教

日本の神仏習合

南都六宗

法相宗

俱舍宗

三論宗

成実宗

華嚴宗

律宗

平安密教

天台宗

真言宗

法華系

日蓮宗

浄土系

浄土宗

浄土真宗

融通念仏宗

時宗

禅宗

臨済宗

曹洞宗

黄檗宗

第三編 三十歳～三十九歳

第四編 四十歳～四十九歳

第五編 五十歳～五十九歳

第六編 六十歳～六十九歳

第七編 七十歳以降

第八編 著作者の一部および著作者が岩崎純一であるもの

第九編 著作者が岩崎純一であるもの

第一編 ○歳〜十九歳

編纂中。収録を待たれよ。

第二編 二十歳〜二十九歳

第一部 鈴木大拙

二〇一一年六月二十日 起筆、擱筆、公開

■おすすめ著作

『日本の霊性』 『無心ということ』 『東洋的な見方』 『禅と日本文化』

鈴木大拙の「即非の論理」は、「AはすなわちAにあらず。よりにAなり」を意味し、もちろん、多分に仏教的・禅的な響きを持つ概念であり、また鈴木自身が多分に仏教的・禅的な人間ではあるが、この自己意識の様態は、精神病理学的には重度の解離性障害者の脳などで起こっていると考えられる。私はそのことを、解離性障害の女性との交流の中で、自分で考案している岩崎式日本語について語り合っている時に、思いがけず確認したことがある。

男性でも、現代日本語発話の障害を有する男性ならば、同等のことが起こっていると考えられるが、そのほとんどが自閉症や知的障

害と呼ばれる様態を呈していて、確認のしようがない。元より、自閉症や知的障害は統計的に男性に多い。

女性においては、自閉症や知的障害の一手前であっても文法言語への認識を保持する場合が多い。岩崎式日本語の空格段階は、この構造を有していて、そこでは、「〜である」と「〜でない」とが区別されないが、それが心地よいらしい。

ただし、現代日本語発話に障害が全くない状態で中程度に解離してどまる離人症においては、即非の論理は直ちには理解されず、脳としても即非があまり生じないようである。従って、岩崎式日本語も必要ないと同時に、直ちに理解もされにくいのは、当然であると思う。